

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成

報 告 書

平成 30 年 3 月 30 日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第二サービスセンター)

目次

1. 目的
2. 調査方法
3. 調査結果
4. まとめ

1. 目的

当会の長年にわたる石油・化学品貨物等の液体貨物輸送に関わる検査・分析業務を通して得られた知見、及び公的規格や団体規格などの多種・多様にわたる分析の規格と関係規則を基に、「化学製品取扱必携」の改定を行い、冊子を作成し配布するとともに、Web上で公開する。液体貨物の海上輸送に携わる輸出入商社、損害保険会社、船会社、化学品製造会社等の不特定多数の関係者へ、化学製品の性状、危険性、取り扱い時の注意点やGHSモデルラベル過去の事故例を新規に追記し、総合的にまとめて説明する事で社会にとっての不可欠な物資、エネルギー等の取引の円滑化に寄与する。

2. 調査方法

当会に於ける原油・石油製品・化学品に精通している者 14 名（検査第二サービスセンター及び各事業所・事務所）にて、液体貨物の取扱いに関わる情報が収められている「化学製品取扱必携(改訂版)」(2013年発行、当会編集)に記載された内容に関し、長年にわたり検査・分析業務を通して得られた知見及び経験、最新の国内外規格・法令を参照して見直し・加筆し、最終的に1つの資料データとして統合する。成果物としてまとめた資料を、Web上で公開する。

3. 調査結果

「化学製品取扱必携(改訂版)」に記載がある内容について、抜本的に見直し“化学製品取扱必携(改訂第Ⅱ版)”としてまとめた。今まで本船タンクコーティングの種類を記載していたが、CTSハンドブックに記載したため、本文から削除し、新たにGHSモデルラベルや過去の貨物事故例を加えた。

また、各品目について貨物の性状・規格を基に危険物船舶運送及び取扱貯蔵規則、IBC Code、IGC Code等も参照し個別にまとめた。

4. まとめ

見直し・改訂した内容について不特定多数を対象に当会ホームページ上で公開し、これらのデータは定期的に見直し、必要に応じて Update を行う。